

令和5年度 学校自己評価

栃木県立栃木工業高等学校

教育目標	国際社会に生きる心豊かな人間性を養い、地域社会から信頼され期待される工業人を育成する。 1 主体的な実践力の育成 2 個性の伸長 3 情操の涵養		
重点目標	1 基本的生活習慣の確立 ・明るく元気な挨拶の励行、時間厳守、整理整頓に努める。 ・情報モラルを身に付けさせ、I C T機器の正しい使い方を指導する。 ・交通ルールやマナーの徹底など、規範意識の高揚を図る。 ・ウィズコロナの時代を見据え、健康で規則正しい日常生活を実践する。		B
	2 基礎学力の確実な定着と専門的な知識・技術の習得 ・個性や能力に応じたわかりやすい授業を実践し、生徒一人ひとりの学力を高める ・資格取得や各種コンテスト、競技大会への挑戦を通し、生徒の実践力を高めるとともに多くの成功体験から生徒に自信を持たせる。		A
	3 ものづくり技術を生かした地域・国際貢献の推進 ・工業の特色を生かした地域連携・交流を推進し、地域に根ざし信頼される学校作りに努める。 ・福祉教育・人権教育をととした地域・国際貢献活動の推進に努める。		A
	4 部活動の充実 ・自主性を高め、より高い目標に果敢にチャレンジする精神を育てる。 ・体力の向上と豊かな人間性、さらによりよい人間関係を育成する。		A
評価基準	十分満足できる…A 概ね満足できる…B 努力を要する…C 一層努力を要する…D		
各部・各科	重 点 目 標	具 体 的 取 組	評価
教務部	1 教育計画の適正な実施を図る。	○教務部内の係毎に適正な職務分担を行い、各部・各科との連携を密にして共通理解を図りながら、教育計画を円滑に実施する。	B
	2 各種行事の円滑な実施を図る。	○学校行事の内容、係分担等について十分な計画を立て、事前準備及び円滑な運営を行い、充実した行事の実施を図る。	B
	3 生徒・保護者・地域等への適切な情報発信の充実を図る。	○中学校訪問、学校説明会、一日体験学習及びホームページなどを通し、本校の広報活動に努める。	A
学習指導部	1 基礎学力の確実な定着を図る。	○個性や能力に応じたわかりやすい授業を実践し、生徒一人一人の学力を高める。	B
	2 専門的な知識・技術を習得させる。	○資格取得や各種コンテストへの挑戦をととし、生徒の実践力を高めるとともに、多くの成功体験から生徒に自信をもたせる。幅広く高度な資格試験取得への挑戦を奨励する。	B
生徒指導部	1 基本的生活習慣を育成する。	○学校生活の各場面において基本的生活習慣の重要性を理解させ、時間厳守、挨拶励行、整理整頓の実践、規範意識の高揚、正しいスマートフォンの使い方など基本的生活習慣を育成する。	B
	2 交通法規を厳守させ、交通マナー、規範意識の向上を図る。	○自転車の左側1列走行、雨天時の合羽着用指導を徹底し、交通ルールを厳守させ、自他の安全に配慮した運転を心がけ、交通マナーの徹底など規範意識の高揚を図る。	B
	3 教育相談活動の充実を図り、豊かな心を育成する。	○生徒の人権を尊重し、家庭や関係機関と連携して生徒理解に努め、健全な発達の支援や援助を行う。	A

特活指導部	1 『主体的な実践力の育成』『個性の伸長』『情操の涵養』に資する活動(部活動、福祉活動、生徒会活動、HR活動等)を援助・実践し、心豊かな人間性を養う一助とする。	○部活動環境を整備し、生徒の意識の高揚を図りながら、部活動の活性化を促進する。	B
		○国際交流活動、福祉交流活動、福祉機器製作活動、福祉啓発活動等を継続的に行う。	A
		○生徒及び生徒会の自主的・積極的活動の促進を図り、生徒会主催行事を成功に導く。	A
進路指導部	1 自立した一人の人間として、力強く生きていく力を育成する。	○(1,2年生) キャリア教育の視点から全体指導や分野別指導を行い、自己の進路に対する意識を向上させる。	B
		○(3年生) 希望する進路の実現に向け、個に応じた指導を組織的に行い、進路を決定させる。	A
健康指導部	1 自己の健康を適切に管理できるようにする。	○各種検診、定期健康診断を全員に受診させ、生徒個人に対する健康指導に役立たせる。また、環境衛生の向上を図り、特に感染症における対策の徹底に努める。	B
	2 健康で安全な生活をしようとする態度を養う。	○各種検診、定期健康診断の受診結果を通して、日頃より自己の健康管理の重要さを意識させる。	A
環境指導部	1 健康で学習意欲が向上する環境をつくる。	○学校周辺の清掃奉仕活動にも取り組み、校舎内外の環境と美化の向上を心掛ける。	B
	2 ゴミも資源になることを意識させる。	○ゴミの分別・回収を徹底することで、ゴミも資源になることを意識させる。	B
渉外部	1 学校、家庭、地域社会の相互連携を図り、PTA活動の活性化を推進する。	○学校行事(学校公開・マラソン大会)やPTA研修会へ積極的に参加し、PTA活動の充実を図る。	B
		○同窓会理事会・総会の出席率の向上、それぞれの会の円滑な運営を目指し、同窓会活動の充実を図る。	B
防災部	1 災害発生時に迅速な行動がとれるよう、防災教育を行う。	○災害時に的確な避難行動がとれるよう地震対応避難訓練・火災対応避難訓練を実施する。その為に、避難経路の確認や防災組織の役割を明確にする。	B
	2 防災安全点検を実施し校内の危険箇所及び危険施設を把握する。	○年間2回の防災安全点検を全職員で取り組み、危険箇所や危険施設の点検後、改修や改善に努める。	B
学年部	(1学年) 1 基本的な生活習慣の確立 2 学習習慣の確立	○自己管理の徹底(無遅刻・無欠席、規範意識の育成、挨拶の励行、整理整頓)。 ○授業と課題への真剣な取り組みと積極的な資格取得。	B
	(2学年) 1 中堅学年としての積極的な学校生活の促進 2 目標を持った学習スタイルの確立 3 インターンシップ・修学旅行を通した広い視野とたくましい心及び協調性の育成	○自己管理の徹底(無遅刻・無欠席、規範意識の育成、挨拶の励行、整理整頓)。 ○進路目標を持たせ、計画性のある学習の実施。 ○面談を活用し、生徒の悩みを把握し、学習・進路・規範意識を高める。 ○行事を通して人と人との関わりの重要性を学ばせる。	B
	(3学年) 1 模範となる生活習慣・学習習慣・規範意識の確立	○自己管理の徹底(無遅刻・無欠席、規範意識の育成、挨拶の励行、整理整頓)。 ○進路目標に合わせた計画性のある学習の実施、及び進路決定後も学び続ける力の育成。	B

	2 生徒の進路実現 3 社会人として通用する資質の育成	○本人・保護者が納得できるよう進路指導部・各科と連携した進路指導と綿密な面談の実施。 ○学校行事、進路指導等を通してコミュニケーション能力の向上を図る。	
工業部	1 工業技術を生かした自己実現、地域・国際貢献出来る人材の育成	○工業各専門分野における学習を基に、資格試験の取得や周辺地域との連携や貢献活動（インターンシップ・招聘講座・出前授業・テクノボランティア等）を通して自己実現を図る。	B
機械科	1 機械に関する基礎・基本を習得させるとともに、ものづくりの実践を通して応用力と課題解決能力を身につけさせる。 2 機械技術者としての技能・技術を育成し、地域社会・国際社会に貢献できる力を育てる。	○工業の基礎基本を習得させ、実践を通して、応用力と課題解決能力のある生徒を育成する。 ○機械検査技能士3級の指導を工夫し、合格率の向上を図る。	B
電気科	1 電気技術への関心を高め、基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。 2 電気技術者として社会に出て活躍できる適応力を育てる。	○第二種電気工事士資格試験の指導を工夫し、合格率の向上を図る。 ○ものづくりで地域との交流を実施する。 ○電気系コンテストの上位入賞を目指す。	A
電子情報科	1 電子・情報技術に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。 2 様々な分野においてICT（情報通信技術）を主体的に活用する能力と態度を育てる。	○学習内容・方法を随時検討・精選し、実践・定着を図る。 ○各種資格・検定取得における対策指導の充実を図る。 ○地域と連携した活動を発展・充実させる。	B